

## 第10回 2022年度 昭和の森「親子田んぼ教室」

### 田んぼの草取り

萩 将勝(千葉市)

日 時：2022年6月25日(土) 10:00～12:00 天気：晴れ

参加者：18名(大人10名 子ども8名)

担当指導員：武田 山下(美) 萩、管理事務所1名

梅雨の中の猛暑、田んぼで今日の親子田んぼ教室の準備をして、受付を済ませ、注意点の説明を受けた、皆の来るのを待つ。

今回は全員で18名、ブルーシートに荷物を置き、田に入る準備をし、先ず、畦道一周しながら田んぼの状態を観察する。

草取りの方法、なぜ草取りをするのか、取った後の草は丸めて足で土の中へ埋め込む、その効果などを説明した後、自分たちが植えた田に向かいます。

田植えしてから2か月、稲の生長具合を測定、稲の高さは70cm、株の茎を数えると25本にも分けつが進み(植えたときは15cm、3～5本)よく育っているのが分かりました。

田に入ってから草取りは、田に、あまり草はなく直ぐに完了しました。

汚れた手足を川の水で洗い、田の中に実際に生えていた草、畦に生えている草の名前を調べました。赤い葉っぱのヒルムシロ、紫色の花をつけ、江戸時代までは食用にされたコナギ等、10数種類の草を確認しました。

いよいよ、子ども達待望の生き物調べです。大人も子どもも各々網を持ち田んぼ、水路、や池で生き物をさがします。土手の上の容器に次々と生き物が入ります。

捕った生き物を容器に入れ、説明した後、生態系ピラミッドに置いてもらい、自然界では弱肉強食、食べる、食べられる、の関係で繋がっていることを確認した後、捕まえた生き物を田んぼに返し今日の作業を終了しました。



田んぼに入って草取り



ピラミッドのどこに置くのかな